

## 広聴広報委員会視察報告書

北上市議会議員 三宅 靖

■視察日：平成29年2月2日（木） 10:00～12:00

■視察先：埼玉県所沢市議会

■説明者 副議長 荻野 泰男 議員

広聴広報委員会 委員長 西沢 一郎 議員

委員 植竹 成年 議員

■視察テーマ：広聴広報の活動について

■視察報告内容

### 1. 議会報告会について

- ・「所沢市議会報告会実施要綱」を定めて実施している。要綱では「原則年4回開催」としているが、現在は年2回開催し、概ね5月と11月に、議員を4班に分けて、2会場で開催。
- ・内容は2部構成とし、1部では議会の予算や決算審議を中信に報告する。この時には、議員個人の意見は述べない。2部ではテーマを決めて、意見交換し、場合によっては議員個人の意見も述べられることにしている。これらの報告内容や進め方は各班に任せている。
- ・参加者は毎年減っている。高齢者や固定された参加者が多いのが課題。
- ・告知方法として、ポケットティッシュにチラシを入れて駅前で配布し、1,000枚を30分で配布した。また、当日は会場周辺を、1時間程度広報車で呼びかけている。
- ・以前は、意見交換会で出てきた意見は一覧にまとめていたが、活用できていなかった。広聴広報委員会が設立されてから、その一覧を4常任委員会へ振り分けて対応をお願いするようにした。また、正副委員長連絡協議会で共有している。

### 2. みみ丸カフェについて

- ・久慈市議会を視察し、そのワールドカフェ方式を参考とした。市内に早稲田大学があり、パートナーシップ協定を結び、みみ丸カフェを始めた。
- ・ファシリテーターを教授が、テーブルホストを学生が務めた。
- ・参加者の募集方法は、議会報告会が高齢者が多い為、みみ丸カフェは20代から50代への方へ任意に800通の案内を市民に郵送した。その結果、36名から返事があった。
- ・更に、選挙年齢の引き下げにより市内の高校生に声がけして4名の参加が得られた。
- ・議員の参加は、広聴広報委員11名とし、そのうち、2名は茶娘の服装で給仕役（狭山茶を提供してもらった）。
- ・参加議員は統一ポロシャツを自腹で作成。更に今までの壁を取り払い意味で、コスプレで参加。→コスプレ参加はアンケート結果で「話しやすかった・議員が親しみやすかった」などとあり効果があった。
- ・今回のみみ丸カフェの結果は、政策提言などにつなげる訳ではなく、出された意見など

をまとめて議員で共有するに留めた。

### 3. 議会だよりについて

- ・議会だよりをリニューアルするにあたって、他市の議会だよりの表紙を庁舎の市民ギャラリーに展示し、どんな表紙が良いかをアンケート調査した。  
→写真が多いのが良いという結果となった。
- ・市民との意見交換やインタビューを議会だより載せるようにし、その相手を撮影した写真を表紙にするようにした。例えば、市出身の相撲取りや議場コンサートのメンバーなどのインタビューを掲載しており、その対象者を表紙の写真に使った。  
→写真の撮影は、議会事務局員で写真が上手で一眼レフカメラを個人所有している職員が居るため、彼に頼っているのが現状であり、移動があった場合が問題となるかもしれない。

### 4. SNS（ツイッター・フェイスブック）の利用について

- ・どちらもアカウントは議会事務局で取得し、書き込みも事務局で対応している。
- ・Twitterは、本会議や委員会の開催などの情報を提供とFacebookへの誘導。
- ・Facebookは、視察受入の様子、議会開催のお知らせ、議会だより発行のお知らせ、議会のイベント開催のお知らせやその報告などが中心。
- ・Facebookでは「みみ丸のつぶやき」という掲載も実施。事務局員の担当者のつぶやきを載せている。
- ・Googleカレンダーを活用し議員間の日程を共有している

\* みみ丸のデザインは美術大学出身の職員が制作し、名称は全国から公募した。  
200点以上の応募があって、市民の声を聴く「みみ」と、議員定数が33人だったことで決定。

### 5. 政策討論会について

- ・当初は議会運営委員会で開催。議員間の共通認識を持つために開催した。三重県議会を模倣して始めた。他の事例が少なく、最初は4回練習してから実施した。
- ・本来は、討論会なので意見が分かれるテーマが良いという意見も多かったが、あまり極端に別れないテーマにし、イベント的な開催となっていた。
- ・広聴広報委員会は、日程と場所の設定だけで、内容や進め方は各会派からの選出されたメンバーで進めた。なお、会派の代表としての意見ではなく、あくまでも個人の意見としての討論会としている。
- ・平成27年度から、常任委員会が開催し、常任委員会で取り組んでいて政策提言しようとしているテーマについて討論している。
- ・初回は100人以上の傍聴者が居たが、現在は60人前後の傍聴者である。
- ・全体は2時間程度で、最初に、基調講演を行い、その後討論会をし、最後の30分程度は傍聴者からの質疑や意見を聞くようにしている。

## 6. その他

- ・平成28年度から「政策研究審議会」を設置し、その為の市民からの意見聴取を広聴広報委員会が所管することになった。平成29年4月1日から1ヶ月間でテーマを「住みたいまち所沢」として1000文字で募集する予定。

### ■所感

- ・議会改革度ランキングが昨年10位でもあり、視察が多いようだ。多岐に渡った活動を実施しているが、こちらも議会事務局職員への依存度が高い。
- ・政策討論会については、当市議会で常任委員会単位で取り組んでいる政策提言の際には、ぜひ模倣してみたい制度である。
- ・所沢市議会の改革の根っこは、市民から「議会や議員は何をしているのか分からない」という意見にあるとの事で、これはどの市議会でも同様だと思う。いかに積極的に時用法を公開していくか、多様な手段や機会で発信していくのが大事だと感じた。

－以上－